

6A 病棟

看護師長 村上 友紀

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 総合周産期母子医療センターとして、急変時・災害時にも対応できるスタッフの育成と倫理的視点から当該病棟の看護を振り返り、看護実践を行う

急変時シミュレーションを4回、災害についての勉強会を実施した。災害についてはスタッフの知識や意識が著しく低いことが明らかになり、課題が残った。来年度災害シミュレーションを実施してスタッフの意識を高めていきたい。倫理的カンファレンスは2例実施、デスカンファレンスは3例実施した。患者の最善は何かをスタッフで考え、行動に移すことができた。患者としっかりコミュニケーションが取れており、看護観も深めることができた。しかし、ジレンマを抱えながら個々の方法で関わっており、思いを共有できていないことが課題だ。

2) BFH 認定施設として、30年の実績のレベルの維持・向上を目指す

母乳育児の勉強会は年間計画に沿って、ロールプレイや演習も組み込み実施できた。今後は臨床での評価を実施する必要がある。事例検討を行い、具体的な考え方をディスカッションできた。BFH30周年記念講演を実施し、150名近い参加者で、スタッフのモチベーションや使命感につながったと考える。

3) 6A・MFICU 病棟の役割を見定め、各個人のレベルにあった能力開発を推進する

アドバンス助産師は新規に3名合格した。NCPRインストラクター(2名)を中心にベビールームで急変した新生児の蘇生シミュレーションを行った。看護研究(2年コース)1題、事例研究1題に取り組んだ。国立病院総合医学会で1題発表した。新規採用者(8名)の離職は0名であった。リフレクションを取り入れ承認と課題設定を行い、指導スタッフに思考発話法を伝え新人指導に病棟全体で取り組んだ。

2. 病床運営状況

表1 令和4年度 病床運営状況

看護単位	収容可能 病床数 (床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数 (人)	平均在院 日数 (日)	病床 利用率 (%)	病床 稼働率 (%)
			新入院 患者数(人)	退院 患者数(人)				
6A	46	産婦人科 乳腺甲状腺科	65.75	90.16	27.8	10.8	60.3	66.8
MFICU	6	産科	7.3	0.5	4.1	31.5	67.6	67.9

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
2	53.4	4	84.2	1

3. 看護体制

表 2 令和 4 年度 看護体制(令和 4 年 4 月 1 日現在)

看護単位	配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
6A	31	PNS [®]	3:3
MFICU	16		2:2

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 4 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 II

基準を満たす患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		40.2	35.1	17.9	41.9	51.6	41.0	31.5	39.5	53.3	35.3	38.8	26.4

2)家族教育等

新生児取り扱い総数	母親学級参加人数(実施回数)	両親学級参加人数(実施回数)	わいわいサークル参加人数(実施回数)
2599 人(月平均 216 人)	16 人(13 回)	0 人(0 回)	0 人(0 回)

3)部署データ

表 4 分娩件数、帝王切開件数と母体搬送件数の推移

	令和 3 年度	令和 4 年度
分娩件数	375	387
帝王切開件数(再掲)	164	173
緊急帝王切開件数(再掲)	96	100
母体搬送件数	91	100

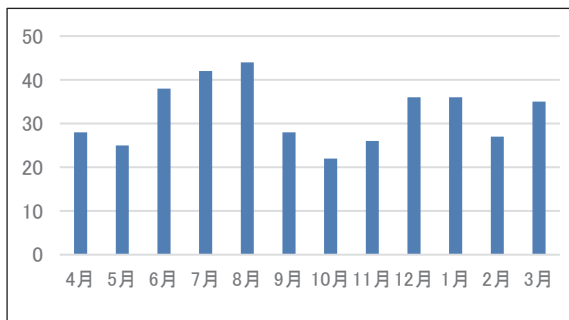


図 1 令和4年度月別分娩数

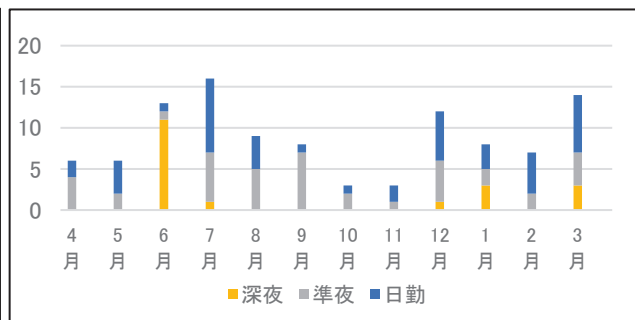


図 2 令和4年度勤務別緊急帝王切開件数

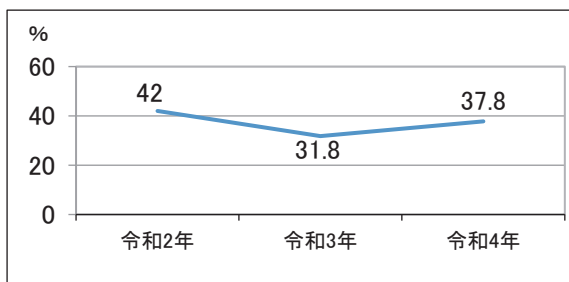


図 3 高年齢出産率

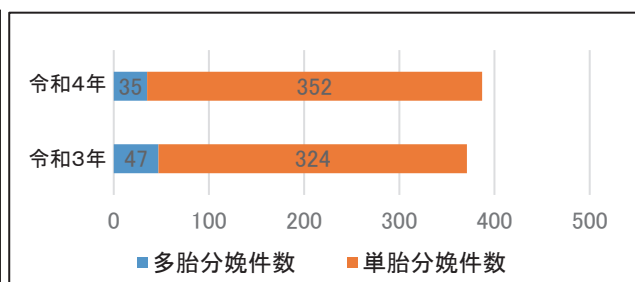


図 4 多胎分娩・単胎分娩の件数